

## 人口センサスの国際的動向と統計研究の課題

濱砂敬郎（九州大学経済学研究院）

### （一）はじめに ー統計実践（人口センサス）におけるパラダイムの転換ー

（1）「『創刊 50 周年号記念号』編集委員会から与えられた論題「統計学の学問的性格：社会科学としての 統計学-その継承と発展-」（記念号 V 部第 2 章）については、近年、研究成果が少ないが、本記念号編集方針では、「会内外の業績を踏まえた上で、現在の課題について積極的に論じる」こととなっている。本報告では、先進主要国における伝統型人口センサスの危機的な状況と新しい様式の人口センサスの出現・展開状況を踏まえて、上記のような論題を設定し、人口センサスの方法転換問題が政府の統計情報体系と統計学研究に迫っている実践的理論的な意義と課題を考察する。それは、人口センサスが備えなければならない情報技術的な性格と社会的な適合性を析出することによって、現代的な統計実践に対応できる統計学の学問的性格を模索する試みである。とくに、センサス統計と行政・統計登録簿（レジスター）を対照・比較することによって、これまで自明の前提として顧みられることがなかった統計目的と統計情報の社会認識論的な特質にアプローチしたい（05 年 4 月提出）。

\* 「考察の素材としては、40 周年記念号の関連論文、蜷川虎三、大屋祐雪、工藤弘安、岡部純一、西村善博、森博美、E. Engel、P. Redfern 等の統計学論、レジスター統計論、マイクロデータ論、センサス論等にかんする論文を予定（記念号『構想原稿』04 年 12 月提出）。

### （二）方法転換 (Methodenwechsel) 期に迎えた人口センサスの国際動向

#### （1）人口センサスの個別的な課題

- 1) センサス基本概念：①世帯概念の多様化、②常住地概念と居住移動形態の乖離、
- 2) 産業構造・雇用形態の高度化・多重化と職業・産業分類概念の不適合、
- 3) 国内・国際的な人口・民族移動（人種・民族・宗教・言語）、
- 4) センサスに対する新しい需要ー小地域統計とマイクロデータ
- 5) 調査員調査の限界：①郵送調査法の見直し、②標本調査との新しい結合様式の模索、  
③行政記録の広範な利用

\* 拙稿「人口センサスの国際的動向と平成 17 年国勢調査」『学術の動向』日本学術会議 05 年 7 月参照

#### （2）人口センサスの全体的な課題ー方法転換問題

- 1) 呼称「伝統型人口センサス」(Traditional Census)の定着と新しい『代替法』の公認
- 2) 各国の状況とくにドイツの状況（拙稿「2000 年世界人口センサスの動向 - ドイツ・欧州を中心に - 」『統計学』No. 79 00 年 9 月参照）
- 3) EC: 『Redfern 報告』（1983・85・86）の意義（拙稿「人口センサスの方法転換問題と『EC:Redfern 報告(その 1) - 伝統型人口センサスの社会的限界 - 』」「(その 2) - 行政登録簿型人口センサスの情動的技術的な条件 - 」「(その 3) - 行政登録簿型人口センサスの社会的制度的条件 - 」『経済学研究』Vol. 71 No5/6, 05 年以下, 並び次頁年表参照）

### （三）方法転換問題の基本的要因と『Redfern 報告』

#### （1）三つの動因と Redfern 報告

- 1) 統計調査環境問題の深刻化、
- 2) 調査経費の肥大化と統計機構の脆弱化
- 3) 行政情報システムにおける情報の集積と情報処理の自動化  
→ Redfern 報告では
  - a) Problem der Gebiete Public Relation, Akzeptanz) : センサスの社会的受容性
  - b) Problem der Gebiete Logistik : センサスの機構・体制（単純に技術的な問題ではない）
  - c) 行政登録簿型センサスの成立条件: ①個人識別番号制, ②行政登録簿システムの統合, ③最新の住所情報

#### （2）その総括：

- 1) a) b) → 統計システム（統計作成と統計制度）と社会システム：伝統型人口センサスの社会的限界
- 2) c) → センサス目的・統計：調査型センサスと行政登録簿型センサス → 異質の統計作成過程

### （四）方法転換問題が提起する統計研究の課題：センサス統計と行政情報

#### （1）センサス統計の統計目的と情報性格：

- 1) センサス個票と行政登録簿情報との比較 → 行政登録簿と統計登録簿の差異：情報的側面と制度的側面
- 2) センサスの統計目的と情報性格：人口センサスの原則（EU の人口センサス指針）
  - ①一般性 (Universalität), ②完全性 (Vollständigkeit), ③同時性 (Gleichzeitigkeit)
- 3) センサスの統計目的、情報性格と統計制度 → 統計登録簿型センサスと統計制度、社会システム

#### （2）方法転換問題の理論的意義：

これまでの研究 蜷川理論も大屋理論も悉皆大量観察法（センサス）を基本前提（例：『統計情報論』第2章以下）